

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.44 2009年4月号

みなさんは、「豊かな生活」と聞いてどういう生活を想像されますか？ 経済的にゆとりのある生活でしょうか。それとも精神的なものでしょうか？ 住む場所は都会でしょうか、それとも田舎でしょうか。いずれにしても、ポイントは「豊かさ」のとらえかたにありそうです。

経済的な豊かさか、精神的な豊かさかはそれほど難しくなさそうです。どんなにお金があっても、家族やまわりの人といつもトラブルをかかえ精神的に安らぐことのない方の生活は、とても豊かな生活とは思えません。ただ、経済的な困窮度が激しいと精神的なゆとりもなくなるのが普通ですから、最低限のお金は必要です。では、都会の生活か田舎の生活かという点はどうでしょう？ 夜景のきれいな高層ビルに入っている高級レストランやおしゃれなバー、さまざまな娯楽施設や文化施設などを「豊かさ」ととらえるのであれば、豊かな生活は都会にこそあると言えます。一方、職場までの通勤時間が短くて住居も比較的広く、普段の生活エリアのすぐそばにある自然環境などを「豊かさ」ととらえるのであれば、豊かな生活は田舎にこそあると言えます。

一概には言えませんが、一般的には年齢が若いときほど都会の生活に豊かさを感じる方が多く、年齢を重ねるとともに田舎の生活に豊かさを感じる方が多いようです。これは、若いときに持っているさまざまな欲を満たしてくれるのが都会であるのに対して、年齢を重ねるとそうした欲が少なくなってくるからなのかもしれません。欲は仏教で三毒のひとつとされ、キリスト教でも7つの大罪のひとつとなっているように、欲が少ないほど人間としてのレベルは高くなりそうです。欲が少ないほどものごとの本質が見えるようになってくるかもしれないと考えれば、年齢を重ねてから感じる豊かさこそが本当の豊かさと言えるのかもしれませんね。

精神科医の香山リカさんは20代から30代にかけて小樽に住んでいたそうですが、関東に住むようになって生活から豊かさがなくなったような気がして、その気分は今でも続いているそうです。ただ、都会に比べて田舎は仕事も少ないのが普通ですから、田舎の生活では経済的なゆとりの確保がポイントになりそうです。

みなさんにとって豊かな生活とはどんな生活ですか？

